平成 24 年 11 月 30 日

岡山県感染症週報 2012 年 第 47 週（11 月 19 日～11 月 25 日）

12 月 1 日は『世界エイズデー』です。

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症警報』発令中です。

◆2012 年　第 47 週（11/19 ～ 11/25）の感染症発生動向（届出数）

■全数把握感染症の発生状況

第 46 週　4 類感染症　レジオネラ症 1 名（80 代　男）

5 類感染症　劇症型溶血性レンサ球菌感染症（70 代　男）

■定点把握感染症の発生状況

○感染性胃腸炎は、患者がさらに増加し、倉敷市・備前地域では発生レベル 3 になりました。

○水痘は、増加傾向であり、真庭地域では発生レベル 2 になりました。

○RS ウイルス感染症は、わずかに増加しました。

○インフルエンザは、県全体で 1 名の発生がありました。

---

1. **12 月 1 日は『世界エイズデー』です。『"AIDS"GOES ON・・・ ～エイズは続いている～』**
   岡山県では『世界エイズデー（12 月 1 日）』の関連事業として、エイズに関する正しい知識についての啓発活動及び夜間等の HIV 抗体検査を実施いたします。詳しくは『**今週の注目感染症**』をご覧ください。
   【岡山県からのお知らせ　平成 24 年度「世界エイズデー」の実施について】

2. **感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、前週よりさらに増加しました（定点あたり 12.59 → 16.61 人）。患者は第 44 週以降急速に増加しており、過去 10 年の同時期と比較すると、大流行となった 2006/07 年シーズンに次いで高い値となっています。全国的にも患者が増加しており、厚生労働省から「感染性胃腸炎の流行状況を踏まえたノロウイルスの一層の予防の啓発について」という注意喚起がされています。
   今週から週報及びホームページに『**感染性胃腸炎情報**』の掲載を開始いたします。県内の発生状況など詳しくはそちらをご覧ください。

3. **水痘**の定点あたり患者数は、第 44 週以降増加傾向です（第 46 週定点あたり 1.74 人）。真庭地域（4.50 人）では定点あたり 4.00 人を越え、発生レベル 2 になっており、また、岡山市（3.00 人）、美作地域（2.17 人）で患者が増加しています。
   水痘（みずぼうそう）はウイルスによって起こる急性の伝染性疾患で、例年 11 月中旬頃から増加がみられます。体幹を中心に数日にわたり発疹が出現し、急性期には紅斑、丘疹、水疱、痂皮のそれぞれの段階の発疹が混在するのが特徴です。水疱内容物、せきやくしゃみのしぶき、鼻水にウイルスが存在し、直接接触・飛沫感染あるいは空気感染によってうつります。9 歳以下の小児期に好発し、予後良好な疾患ですが、成人あるいは妊婦が発症すると重症になる場合があります。

4. **RS ウイルス感染症**の定点あたり患者数は、前週よりわずかに増加しました（定点あたり 0.81 → 0.91 人）。
   地域別では美作地域（3.00 人）で患者が最も多く、年齢別では 1 歳以下の乳幼児が全体の約 70%を占めています。増減を繰り返しているものの、2003 年の調査開始以降最も多い状態が 9 月中旬頃からつづいています。
   今後も県内の発生状況に注意し、感染予防に努めましょう。

5. **インフルエンザ**は、前週より減少し（定点あたり 0.05 人 → 0.01 人）、県全体で 1 名の発生がありました。県内の発生はまだ散発的です。手洗い・うがいなど、自分でできる感染予防に努めてください。県内の詳しい発生状況などは、**「インフルエンザ情報」**をご覧ください。

◎感染性胃腸炎、RS ウイルス感染症、インフルエンザなど冬に流行がみられる感染症が増加しています。
手洗い･うがいを励行し、人混みでのマスクの着用など、感染予防に努めて下さい。
また、かかったら他の人へうつさないよう気をつけ、体調の悪いときは早めに医療機関を受診しましょう。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↓	★	RSウイルス感染症	↗	★★★
咽頭結膜熱	↑	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	★
感染性胃腸炎	↗	★★★★★	水痘	↗	★★
手足口病	↖	★	伝染性紅斑	↑	★
突発性発疹	→	★★	百日咳	↓	
ヘルパンギーナ	↑	★	流行性耳下腺炎	→	★
急性出血性結膜炎	→		流行性角結膜炎	↗	★
細菌性髄膜炎	→		無菌性髄膜炎	↓	
マイコプラズマ肺炎	↓	★	クラミジア肺炎	→	

【記号の説明】
前週からの推移：↓：2倍以上の減少　↘：1.1～2倍未満の減少　→：1.1未満の増減
↗：1.1～2倍未満の増加　↑：2倍以上の増加
発生状況：空白：発生なし　★：僅か　★★：少し　★★★：やや多い　★★★★：多い　★★★★★：非常に多い
※今週の流行状況を過去５年間と比較し、５段階で表示しています。

今週の注目感染症

後天性免疫不全症候群（ エイズ　AIDS ）

12 月 1 日は『世界エイズデー』です。
『“AIDS”GONE ON…～ エイズは続いている ～』
日本では、1 日に約 4 人の割合で新たな HIV 感染者・エイズ患者が報告されています。
岡山県では『世界エイズデー』の関連事業として、エイズに関する正しい知識の啓発活動及び、保健所では夜間等の HIV 抗体検査を実施いたします。このうち備前・美作保健所の検査日には、検査当日に結果をお知らせできる迅速検査を無料・匿名で受けることができます（要予約）。

レッドリボン
エイズに対する理解と支援の象徴



○県保健所・支所における世界エイズデー関連検査実施日時・啓発活動等はこちらから
【岡山県からのお知らせ　平成 24 年度「世界エイズデー」に実施について】

県保健所・支所における検査の予約は、検査実施日前日 17 時まで受け付けており、希望者は梅毒・性器クラミジア・肝炎ウイルス感染症検査も同時に受けることが出来ます。
※12 月 3 日（月）に検査を実施する保健所・支所については、11 月 30 日（金）の 17 時までに予約が必要です。

○岡山市保健所、倉敷市保健所のエイズ・性感染症相談、検査はこちらから

【後天性免疫不全症候群（エイズ　AIDS）とは】
後天性免疫不全症候群は、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）に感染することによっておこる病気ですが、HIV 感染＝エイズということではありません。
HIV に感染すると、自覚症状のない時期が数年から 10 年以上つづき、さらに進行すると、病気とたたかう抵抗力（免疫）が次第に低下して、さまざまな感染症やがんなどを発症するようになります。この状態がエイズです。最近では 1 年以内で免疫力が低下し、治療が必要なレベルにいたる感染者も見られるという報告もされています。
・エイズ Q&A（エイズ予防ネット）

【感染経路は？予防は？】

HIV の主な感染経路は、次の 3 つです。

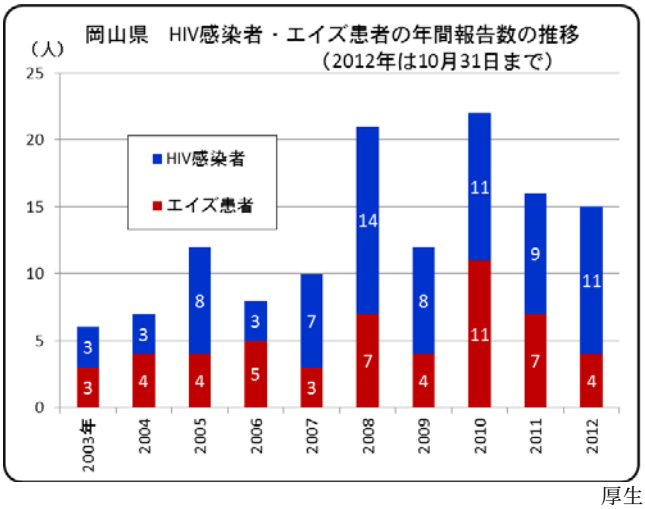
(1)性行為による感染（相手がウイルスをもっていると粘膜や傷口から感染します。）

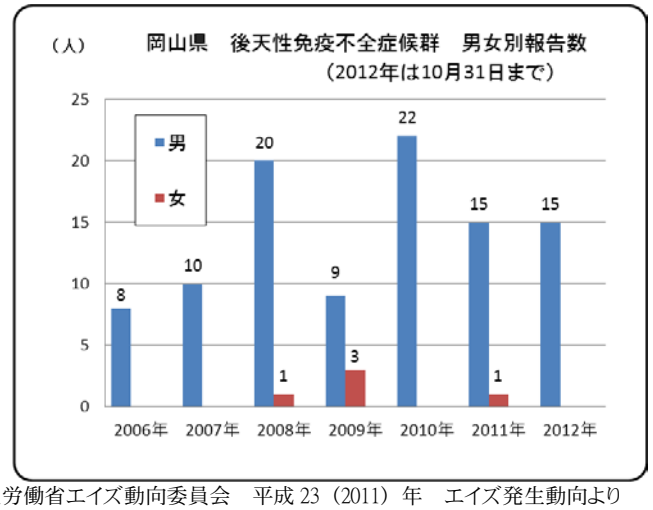
(2)血液による感染（注射の回し打ちなど）

(3)母親から赤ちゃんへの母子感染（妊娠中母体内で、また出産、授乳時に）

学校や職場など、ふだんの生活では感染しないことがわかっています。唾液・汗・涙などでは感染することはありません。最大の感染予防法は、コンドームを正しく使用するなどの Safer Sex（より安全な性行為）を実行することです。

【岡山県の HIV 感染者とエイズ患者報告数】





厚生労働省エイズ動向委員会　平成 23（2011）年　エイズ発生動向より

HIV感染者　＝ 感染症法の規定に基づく後天性免疫不全症候群発生届けにより無症候性キャリアあるいはその他として報告されたもの。

エイズ患者　＝ 初回報告時にエイズと診断されたもの。**「いきなりエイズ」**※。

※「いきなりエイズ」とは、HIV に感染した人が、何も治療を受けないままエイズを発症して、初めて HIV に感染していたことを知る状態をいいます。

エイズ発生動向調査によると、2011 年の岡山県における HIV 感染者は 9 名、エイズ患者（いきなりエイズ）は 7 名であり、報告者のほとんどは男性です。

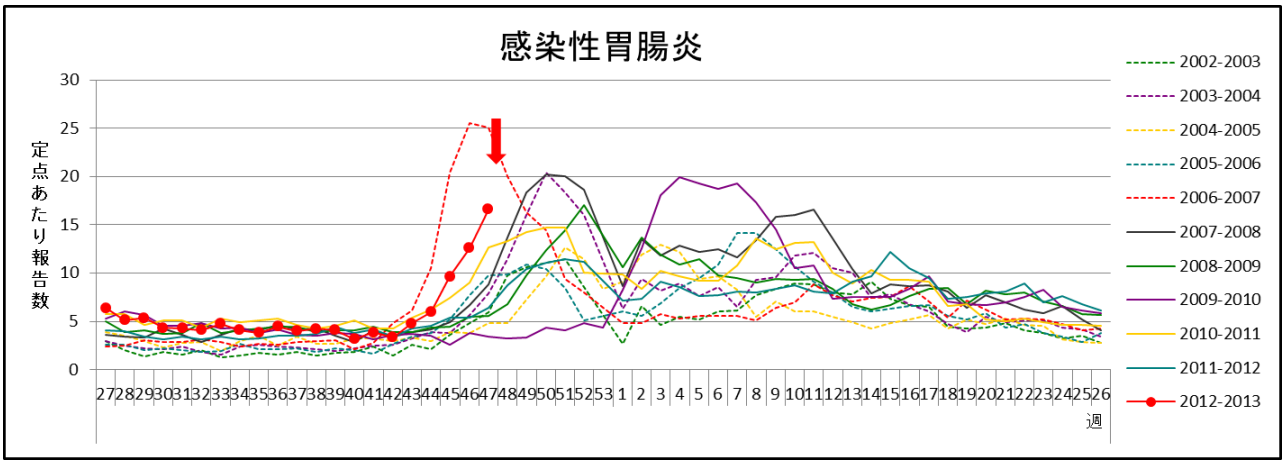
HIV(ヒト免疫不全ウイルス)は、たとえ感染しても感染を早期に発見すれば服薬等をつづけることで、エイズの発症を防ぐことができます。しかし、岡山県はエイズ発症後の報告が多く、2010 年のエイズ発生動向調査において、「いきなりエイズ」が人口 10 万対報告で全国第 4 位であったと報告されました。「いきなりエイズ」はエイズ発症前に治療を開始した人に比べ、治療が難しくなります。また、HIV 検査を受けることによって「いきなりエイズ」を防ぎ、また、気づかないうちにあなたの大切な人にうつしてしまうことを防ぎます。

HIV 感染は HIV 検査を受けないと見つけることはできません。早期発見・早期治療がエイズ発症防止や感染拡大阻止にも結びつくことから、無料・匿名で受けられる保健所などでの HIV 検査を積極的に利用することが望まれます。保健所での HIV 検査は、血液中に HIV に対する抗体があるかどうかを調べる「抗体検査」です。HIV に感染すると、通常、4 週間くらいで HIV に対する抗体が検出されるようになりますが、個人差もありますので、感染の可能性のある機会があってから 3 ヶ月以上経ってからの検査がすすめられています。

平成 24 年 11 月 30 日

感染性胃腸炎情報　2012 年　第 47 週　（11 月 19 日 ～ 11 月 25 日）

○岡山県内の患者報告数は 897 名（ 定点あたり 16.61 人 ）で、患者が増加しました。（54 定点医療機関報告）
○備前地域・倉敷市では発生レベル3 になりました。

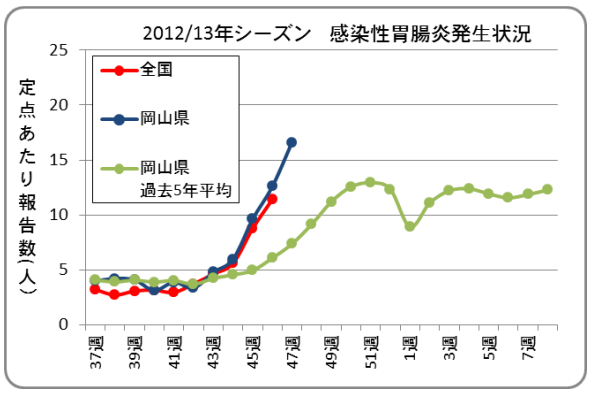


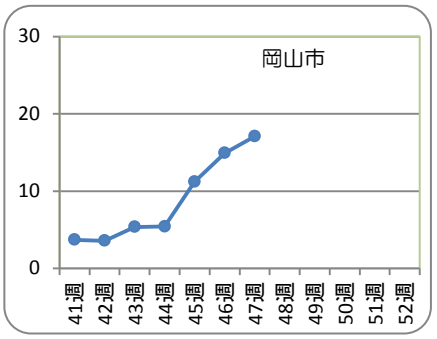
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週 ～ 翌年 26 週を　1 シーズンとして、グラフを作成しています。

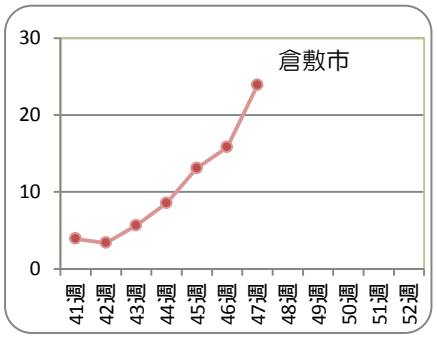
感染性胃腸炎は、患者数がさらに増加しました（定点あたり 12.59 → 16.61 人）。過去 10 年の同時期と比較すると、今シーズンは、大きな流行になった 2006/07 年シーズンに次いで流行の立ち上がりが早く、また患者数も多くなっています。地域別では岡山市（14.93 → 17.07 人）、倉敷市（15.82 → 23.91 人）、備前地域（17.20 → 25.10 人）など県南部で患者が大きく増加し、倉敷市・備前地域では定点あたり患者数が 20.00 人を越え、大きな流行が発生したと思われるレベル 3 になりました。患者年齢は 1 歳以下の乳幼児が 27% で最も多く、5 歳以下の幼児で 62% を占めています。また 20 歳以上の成人の割合も増加しています。

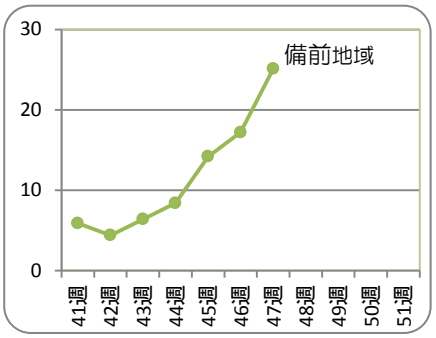
例年より早く本格的な流行を迎えています。学校や福祉施設、病院では集団感染も懸念されます。手洗い・うがいを励行し、感染予防に努めて下さい。通常重症化することはありませんが、小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

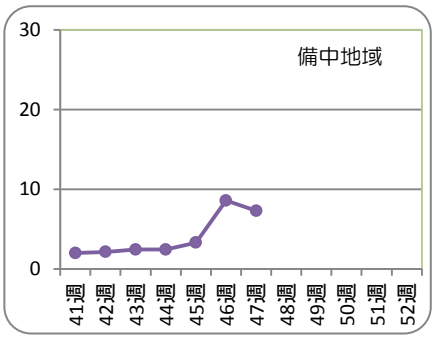
○ノロウイルスに関する Q&A について（厚生労働省）

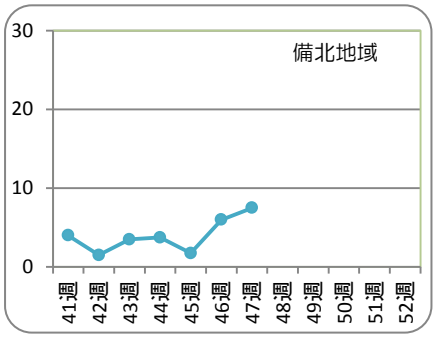


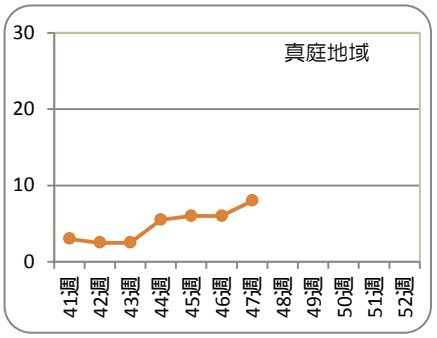


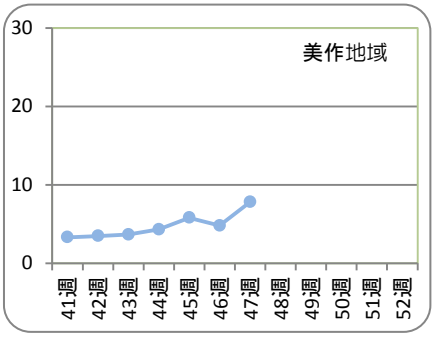












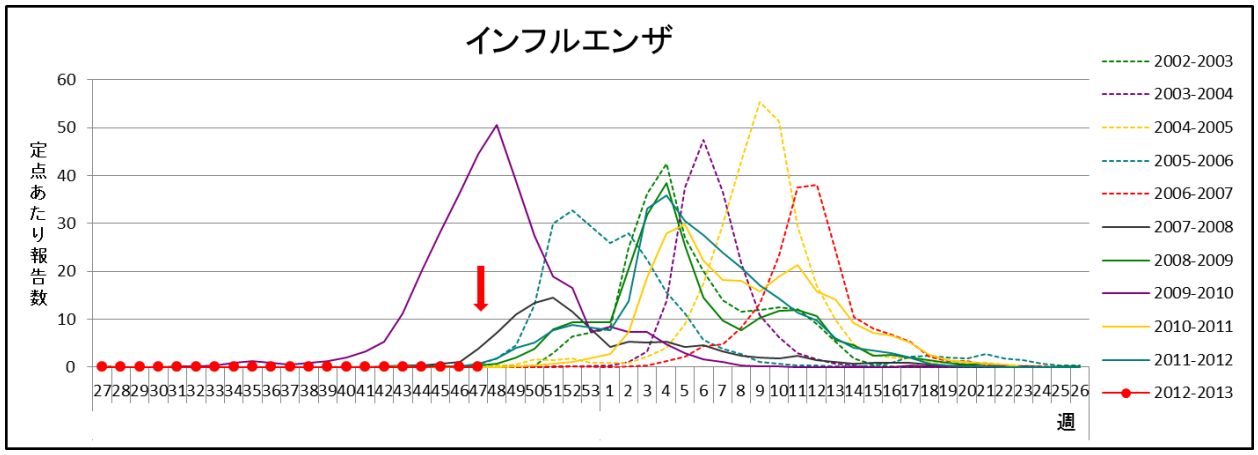
平成 24 年 11 月 30 日

インフルエンザ情報　2012 年　第 47 週　（11 月 19 日 ～ 11 月 25 日）

➢ 岡山県の流行状況

○インフルエンザは、県全体で 1 名の発生がありました（84 定点医療機関報告）。

○インフルエンザとみられる学校の臨時休業、インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。



※　インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週 ～ 翌年 26 週を　1 シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザは、岡山市で 70 代 1 名の発生がありました。（ 定点あたり 0.05 → 0.01 人 ）。県内の発生はまだ散発的です。本格的な流行はまだ始まっていませんが、手洗い・うがいなど、自分でできる感染予防を心がけましょう。

全国集計第 46 週（11/12～11/18）速報値によると、全国では定点あたり 0.14 人（前週 0.11 人）であり、各県の発生はまだ散発的ですが、患者数は徐々に増加しています。また、全国で検出されたインフルエンザウイルスは AH3 型が 86 件、AH1pdm09 型が 10 件、B 型が 4 件であり、昨シーズンの同時期同様 AH3 型が最も多く検出されています。

◆ インフルエンザウイルス検出状況　　第 47 週（11/19～11/25）

第 47 週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスはありません。

岡山県ではこれまでに集団発生事例から、インフルエンザウイルス AH3 型 1 株を検出しています。

◆ インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数　第 47 週（11/19～11/25）

第 47 週、インフルエンザとみられる学校の臨時休業はありません。

1．有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名＊	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	－	**12**	－	**12**	－	**1**	－	－	－	－	－	**1**	**H24. 11. 6**
岡山市	－	12	－	12	－	1	－	－	－	－	－	1	H24. 11. 6
倉敷市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
備前地域	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
備中地域	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
備北地域	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
真庭地域	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
美作地域	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

＊ 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2．臨時休業施設数の内訳　　第 47 週：0 施設　　累計：1 施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－

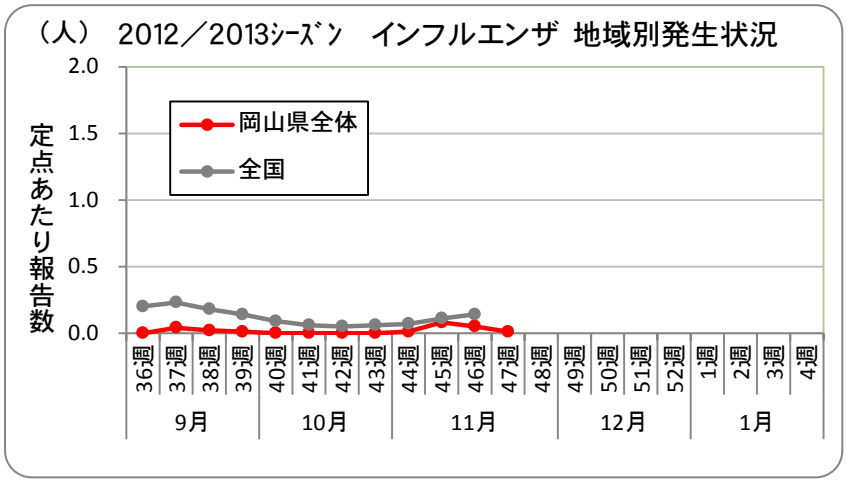
◆ 地域別発生状況

第 47 週（11/19～11/25）　前週からの推移（単位：人）

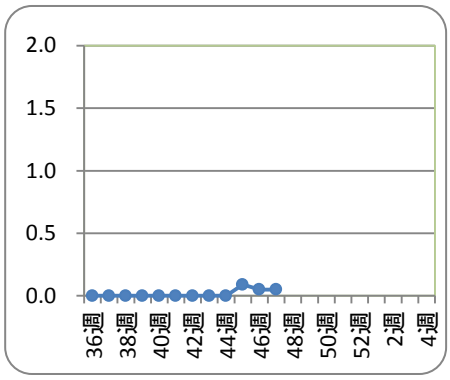
地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	**患 者 数**	**1**	↓	備　中	患 者 数	0	↓
	定点あたり	**0.01**			定点あたり	0.00	
岡山市	患 者 数	1	→	備　北	患 者 数	―	
	定点あたり	0.05			定点あたり	―	
倉敷市	患 者 数	0	↓	真　庭	患 者 数	―	
	定点あたり	0.00			定点あたり	―	
備　前	患 者 数	0	↓	美　作	患 者 数	―	
	定点あたり	0.00			定点あたり	―	

【記号の説明】　前週からの推移：　2 倍以上の減少 ↓　1.1～2 倍未満の減少 ↘　1.1 未満の増減 →

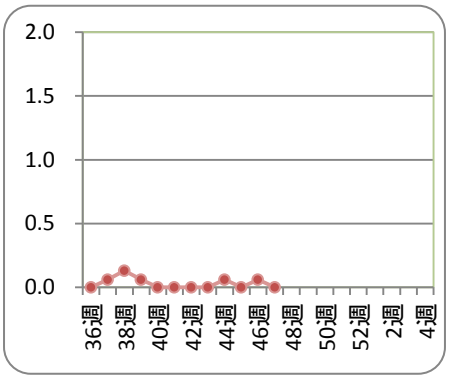
1.1～2 倍未満の増加 ↗　2 倍以上の増加 ↑　－：未発生



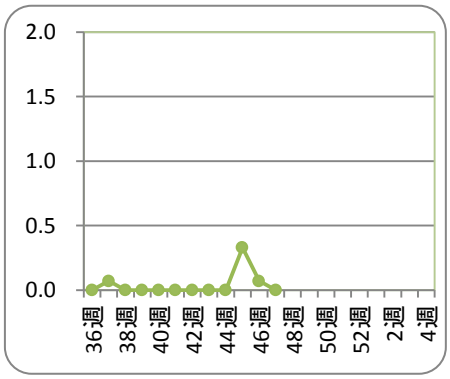
岡山市



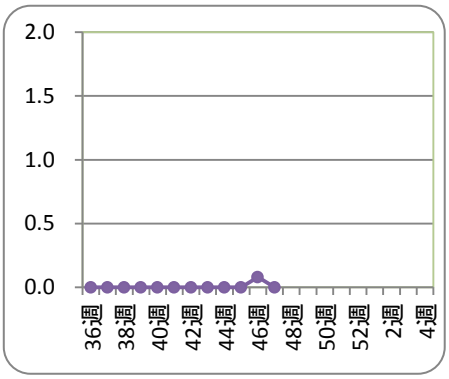
倉敷市



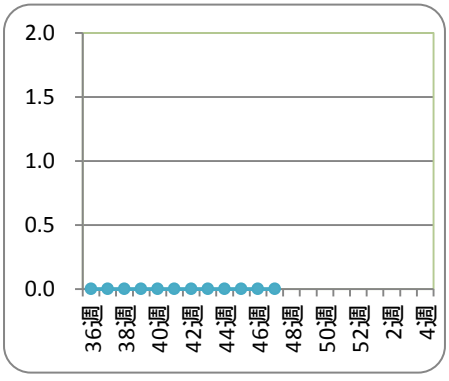
備前地域



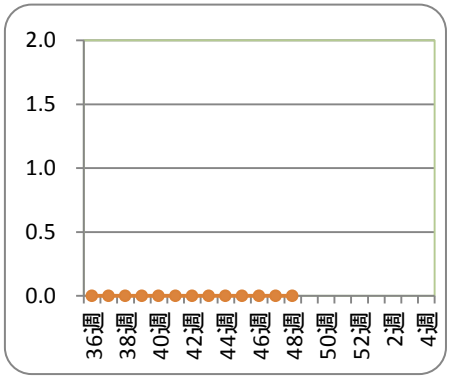
備中地域



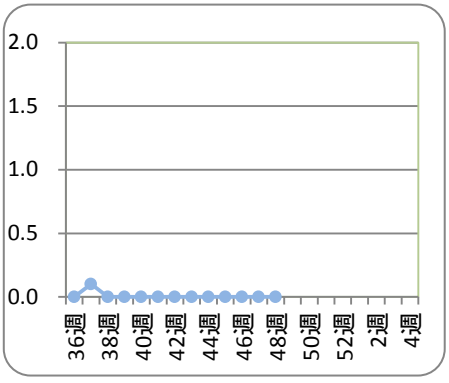
備北地域



真庭地域



美作地域



保健所別報告患者数　2012年 47週　　（ 2012/11/19～2012/11/25 ）

2012年11月28日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1	0.01	1	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症	49	0.91	12	0.86	13	1.18	2	0.20	3	0.43	1	0.25	－	－	18	3.00
咽頭結膜熱	6	0.11	2	0.14	1	0.09	－	－	3	0.43	－	－	－	－	－	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	0.59	10	0.71	13	1.18	－	－	－	－	－	－	1	0.50	8	1.33
感染性胃腸炎	897	16.61	239	17.07	263	23.91	251	25.10	51	7.29	30	7.50	16	8.00	47	7.83
水痘	94	1.74	42	3.00	13	1.18	9	0.90	8	1.14	－	－	9	4.50	13	2.17
手足口病	10	0.19	6	0.43	4	0.36	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
伝染性紅斑	2	0.04	1	0.07	1	0.09	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
突発性発疹	30	0.56	18	1.29	5	0.45	2	0.20	2	0.29	－	－	－	－	3	0.50
百日咳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	5	0.09	1	0.07	2	0.18	－	－	－	－	－	－	1	0.50	1	0.17
流行性耳下腺炎	9	0.17	4	0.29	2	0.18	－	－	2	0.29	－	－	－	－	1	0.17
急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－					－	－
流行性角結膜炎	5	0.42	2	0.40	3	0.75	－	－	－	－					－	－
細菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－					－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－					－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎	2	0.40	－	－	2	2.00					－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎	－	－	－	－	－	－					－	－	－	－	－	－

（ － ： 0 or 0.00 ）　　（ 空白 ： 定点なし ）

保健所別報告患者数　2012年 47週　　（ 2012/11/19～2012/11/25 ）　　2012年11月28日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1	0.01	1	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
咽頭結膜熱	6	0.11	2	0.14	1	0.09	－	－	3	0.43	－	－	－	－	－	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	0.59	10	0.71	13	1.18	－	－	－	－	－	－	1	0.50	8	1.33
感染性胃腸炎	897	16.61	239	17.07	263	**23.91**	251	**25.10**	51	7.29	30	7.50	16	8.00	47	7.83
水痘	94	1.74	42	3.00	13	1.18	9	0.90	8	1.14	－	－	9	4.50	13	2.17
手足口病	10	0.19	6	0.43	4	0.36	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
伝染性紅斑	2	0.04	1	0.07	1	0.09	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
百日咳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	5	0.09	1	0.07	2	0.18	－	－	－	－	－	－	1	0.50	1	0.17
流行性耳下腺炎	9	0.17	4	0.29	2	0.18	－	－	2	0.29	－	－	－	－	1	0.17
急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－					－	－
流行性角結膜炎	5	0.42	2	0.40	3	0.75	－	－	－	－					－	－

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル３
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル２　　を示しています。

（ － ： 0 or 0.00 ）　（ 空白 ： 定点なし ）

感染症発生動向調査　週情報　　報告患者数　年齢別　　（ 2012年　第47週　 2012/11/19～2012/11/25 ）

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	49	5	14	15	10	2	-	2	-	1	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	6	-	2	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	-	-	1	-	2	4	5	2	6	4	2	5	-	1
感染性胃腸炎	897	5	53	183	84	97	72	64	52	23	29	26	80	13	116
水痘	94	-	4	21	14	16	6	11	10	6	3	-	1	-	2
手足口病	10	-	1	3	1	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
突発性発疹	30	-	18	11	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	5	-	-	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	9	-	-	-	1	-	2	-	-	3	-	1	2	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	1

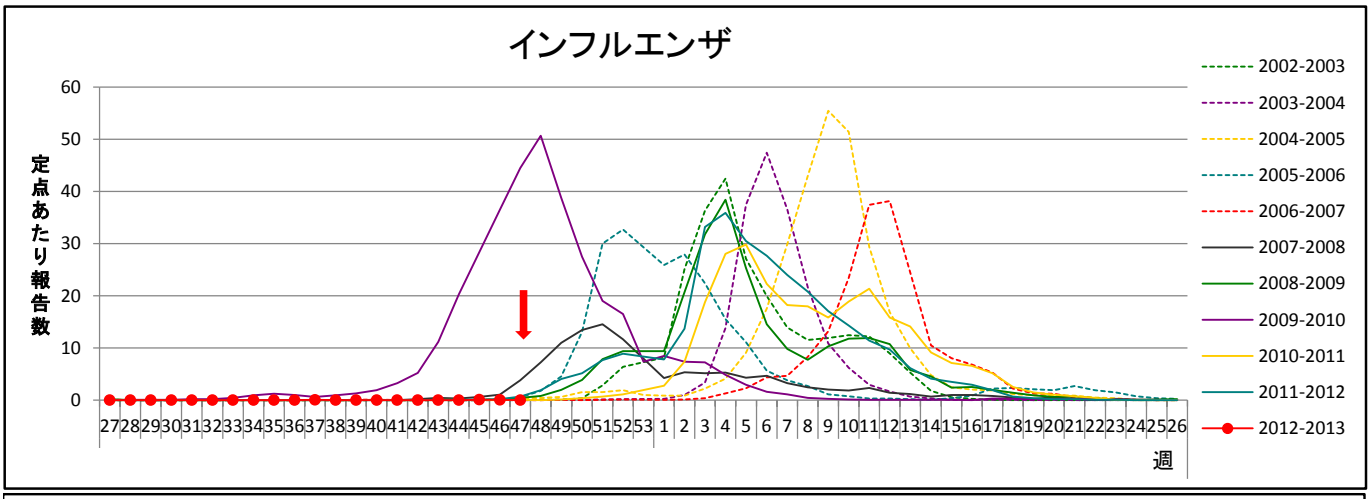
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

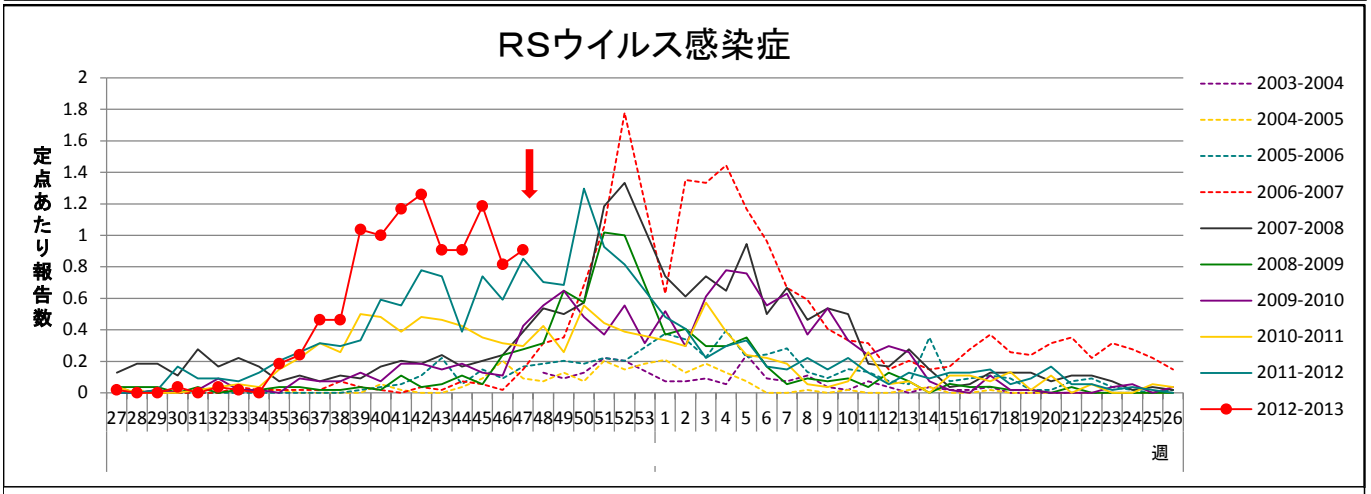
（－： 0 ）

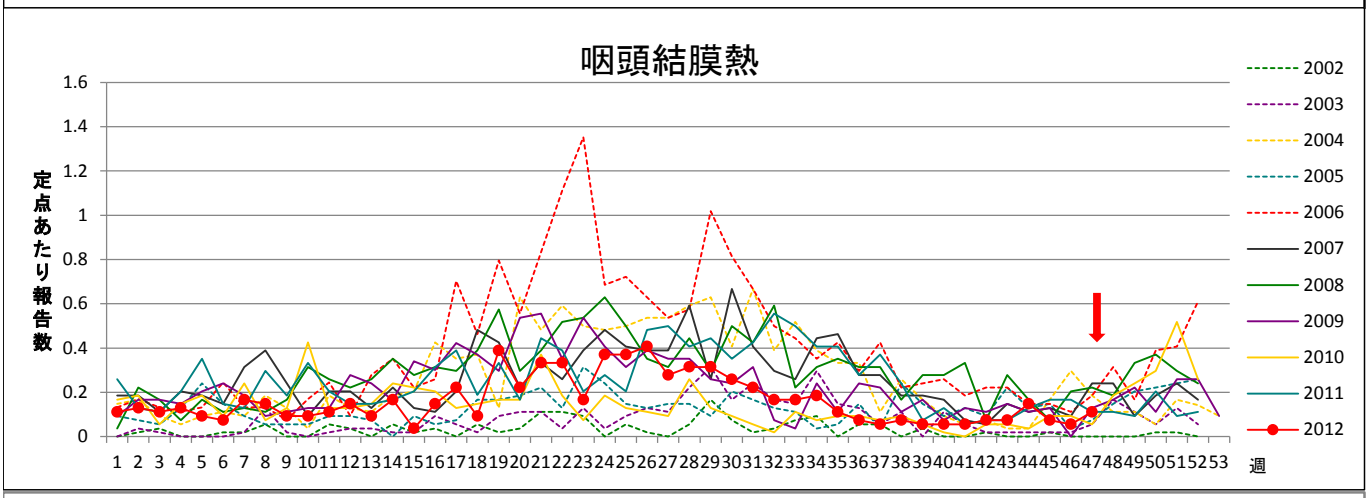
全数把握 感染症患者発生状況

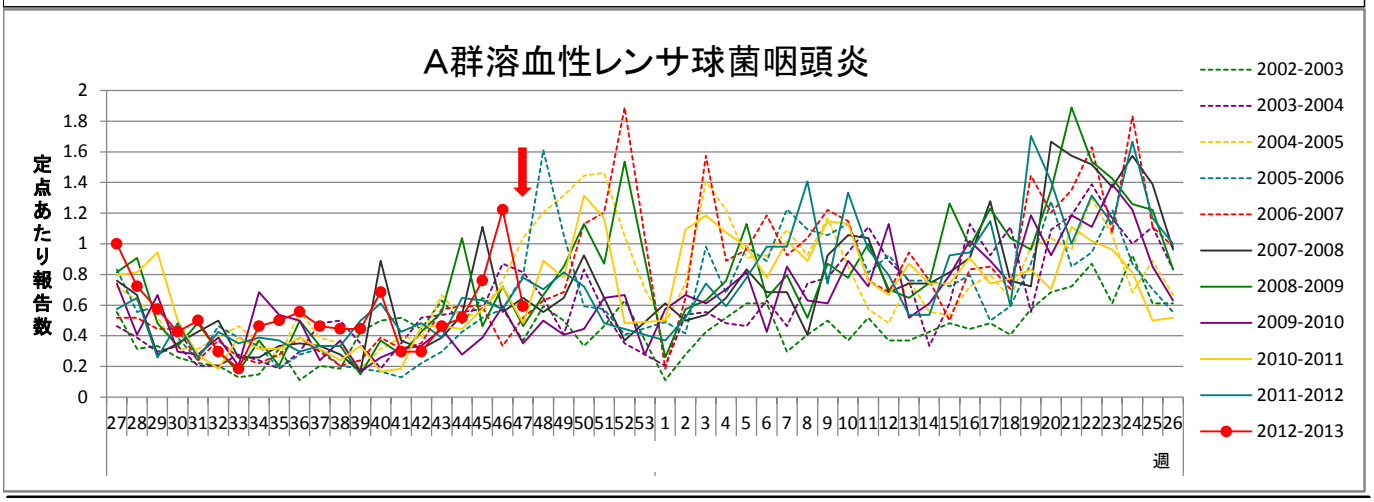
2012 年 47 週

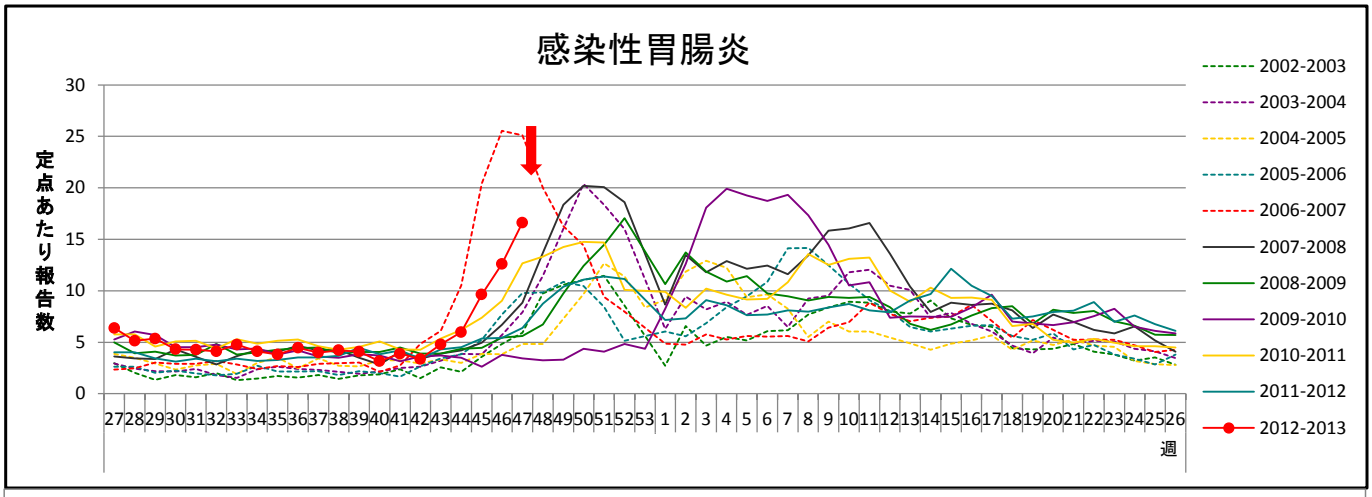
分類	疾病名	2012 今週	2012 累計	2011 昨年	疾病名	2012 今週	2012 累計	2011 昨年	疾病名	2012 今週	2012 累計	2011 昨年
一類	エボラ出血熱	–	–	–	クリミア・コンゴ出血熱	–	–	–	痘そう	–	–	–
	南米出血熱	–	–	–	ペスト	–	–	–	マールブルグ病	–	–	–
	ラッサ熱	–	–	–		–	–	–		–	–	–
二類	急性灰白髄炎	–	–	–	結核	–	430	557	ジフテリア	–	–	–
	重症急性呼吸器症候群	–	–	–	鳥インフルエンザ（H5N1）	–	–	–		–	–	–
三類	コレラ	–	–	–	細菌性赤痢	–	–	1	腸管出血性大腸菌感染症	–	156	67
	腸チフス	–	1	–	パラチフス	–	–	–		–	–	–
四類	E型肝炎	–	–	1	ウエストナイル熱	–	–	–	A型肝炎	–	2	3
	エキノコックス症	–	–	–	黄熱	–	–	–	オウム病	–	–	–
	オムスク出血熱	–	–	–	回帰熱	–	–	–	キャサヌル森林病	–	–	–
	Q熱	–	–	–	狂犬病	–	–	–	コクシジオイデス症	–	–	–
	サル痘	–	–	–	腎症候性出血熱	–	–	–	西部ウマ脳炎	–	–	–
	ダニ媒介脳炎	–	–	–	炭疽	–	–	–	チクングニア熱	–	–	–
	つつが虫病	–	2	3	デング熱	–	1	–	東部ウマ脳炎	–	–	–
	鳥インフルエンザ	–	–	–	ニパウイルス感染症	–	–	–	日本脳炎	–	–	–
	日本紅斑熱	–	–	3	ハンタウイルス肺症候群	–	–	–	Bウイルス病	–	–	–
	鼻疽	–	–	–	ブルセラ症	–	–	–	ベネズエラウマ脳炎	–	–	–
	ヘンドラウイルス感染症	–	–	–	発しんチフス	–	–	–	ボツリヌス症	–	–	1
	マラリア	–	–	–	野兎病	–	–	–	ライム病	–	–	–
	リッサウイルス感染症	–	–	–	リフトバレー熱	–	–	–	類鼻疽	–	–	–
	レジオネラ症	–	26	37	レプトスピラ症	–	–	–	ロッキー山紅斑熱	–	–	–
五類	アメーバ赤痢	–	11	11	ウイルス性肝炎*3	–	7	9	急性脳炎*4	–	1	3
	クリプトスポリジウム症	–	–	–	クロイツフェルト・ヤコブ病	–	1	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	–	1	1
	後天性免疫不全症候群	–	15	15	ジアルジア症	–	2	2	髄膜炎菌性髄膜炎	–	–	–
	先天性風しん症候群	–	–	–	梅毒	–	7	9	破傷風	–	1	3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	–	–	–	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	–	2	–	風しん	–	6	1
	麻しん	–	6	4		–	–	–		–	–	–

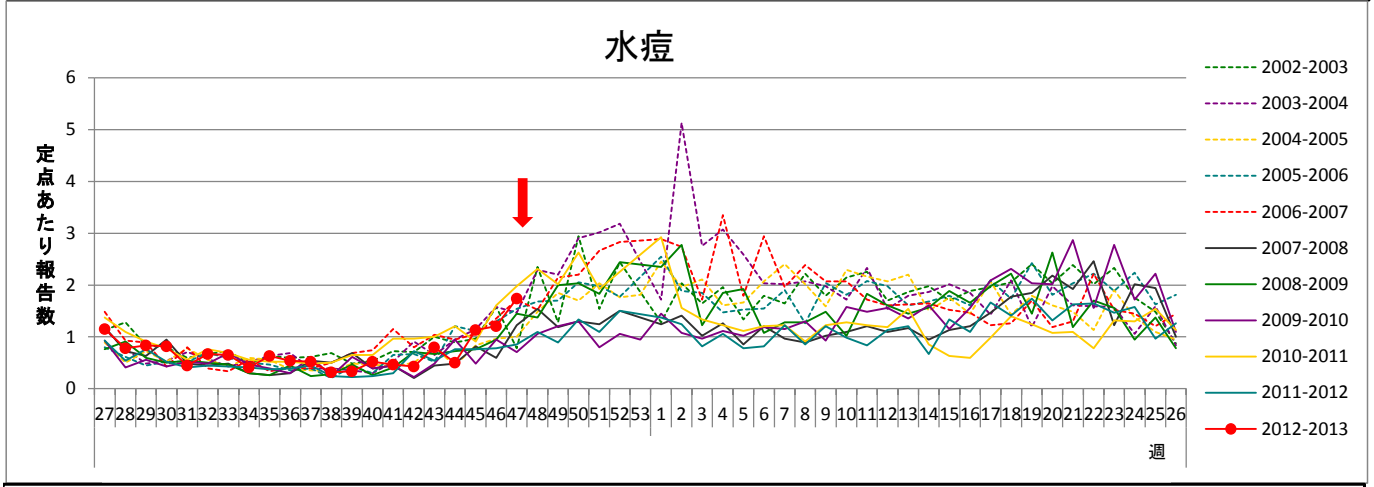

インフルエンザ
定点あたり報告数
60
50
40
30
20
10
0
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2002-2003
2003-2004
2004-2005
2005-2006
2006-2007
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013

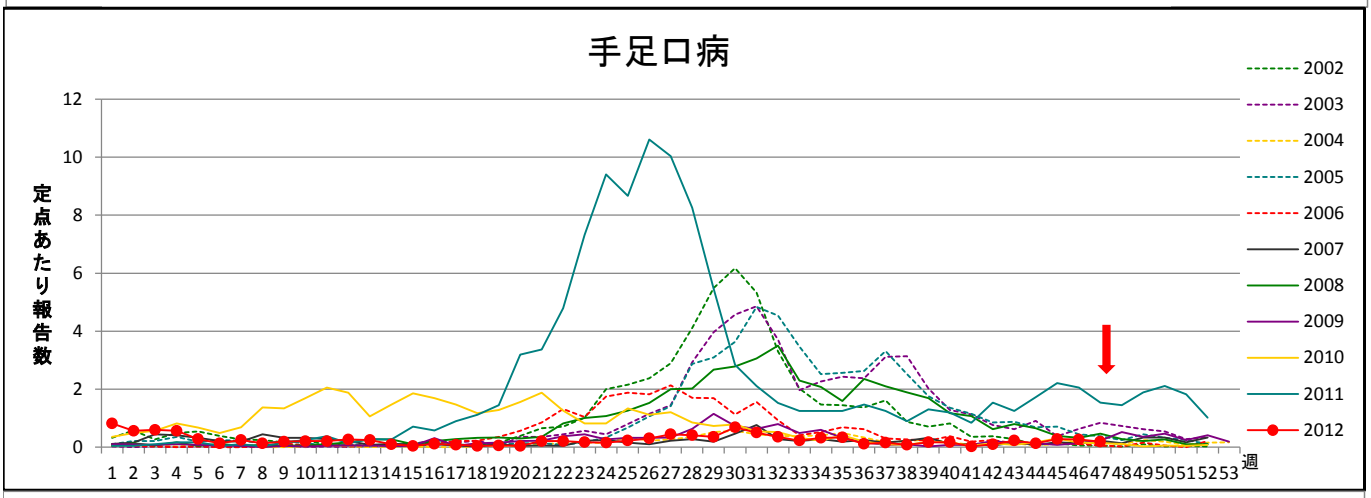

RSウイルス感染症
定点あたり報告数
2
1.8
1.6
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2003-2004
2004-2005
2005-2006
2006-2007
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013

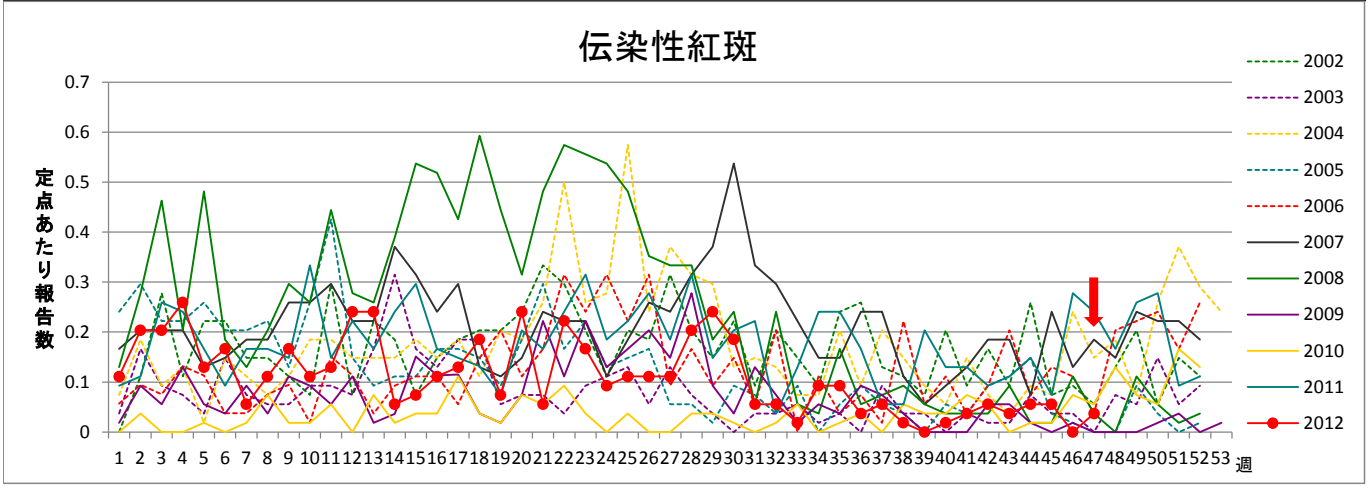

咽頭結膜熱
定点あたり報告数
1.6
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012

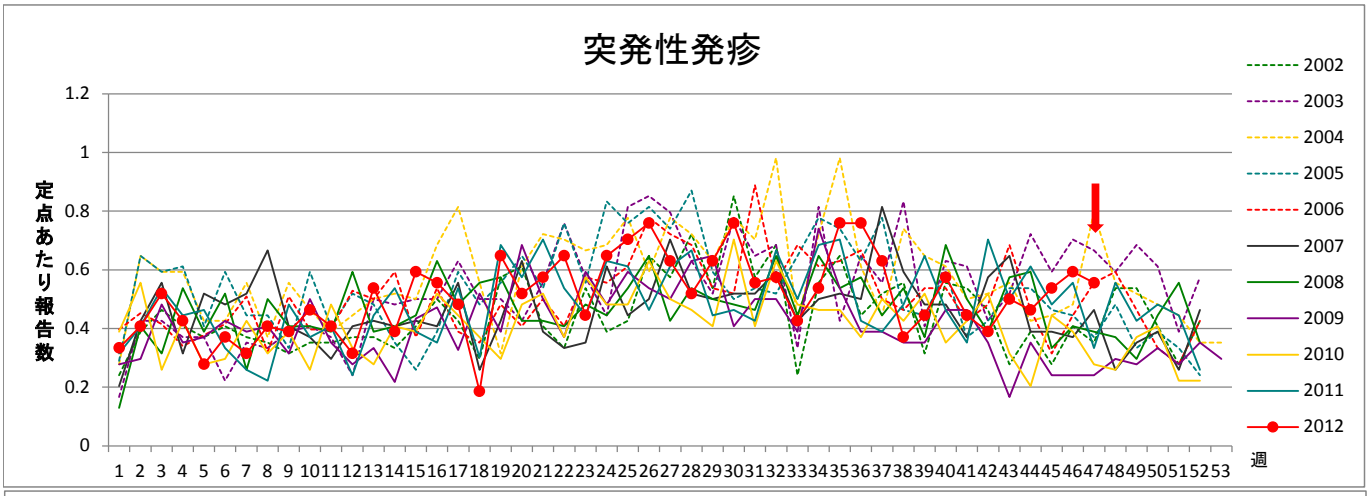

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点あたり報告数
2
1.8
1.6
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2002-2003
2003-2004
2004-2005
2005-2006
2006-2007
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013

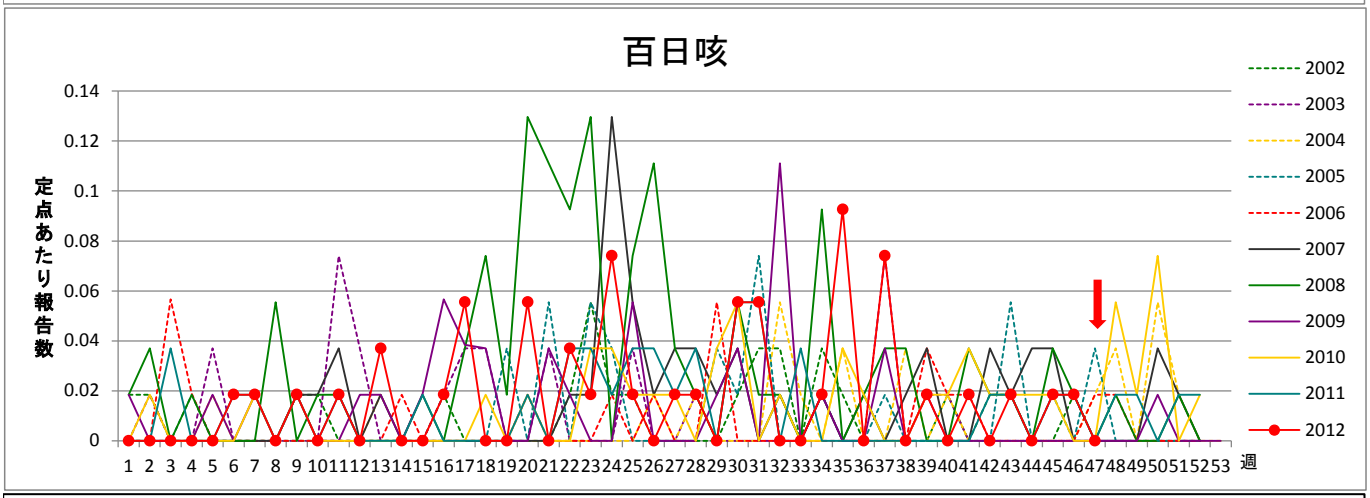

感染性胃腸炎
定点あたり報告数
30
25
20
15
10
5
0
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2002-2003
2003-2004
2004-2005
2005-2006
2006-2007
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013

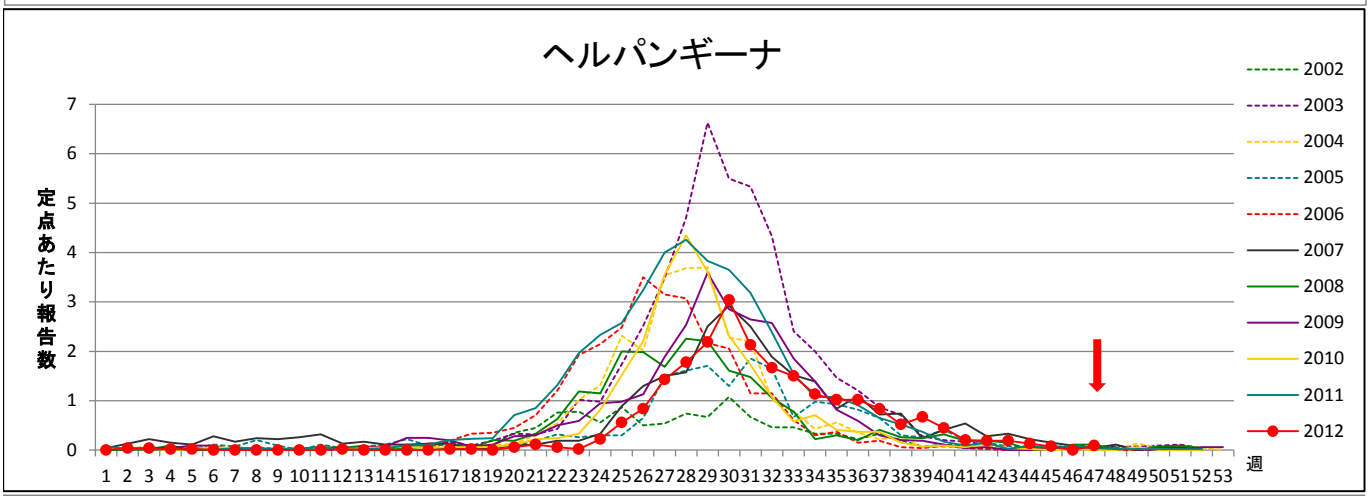

水痘
定点あたり報告数
6
5
4
3
2
1
0
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2002-2003
2003-2004
2004-2005
2005-2006
2006-2007
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013

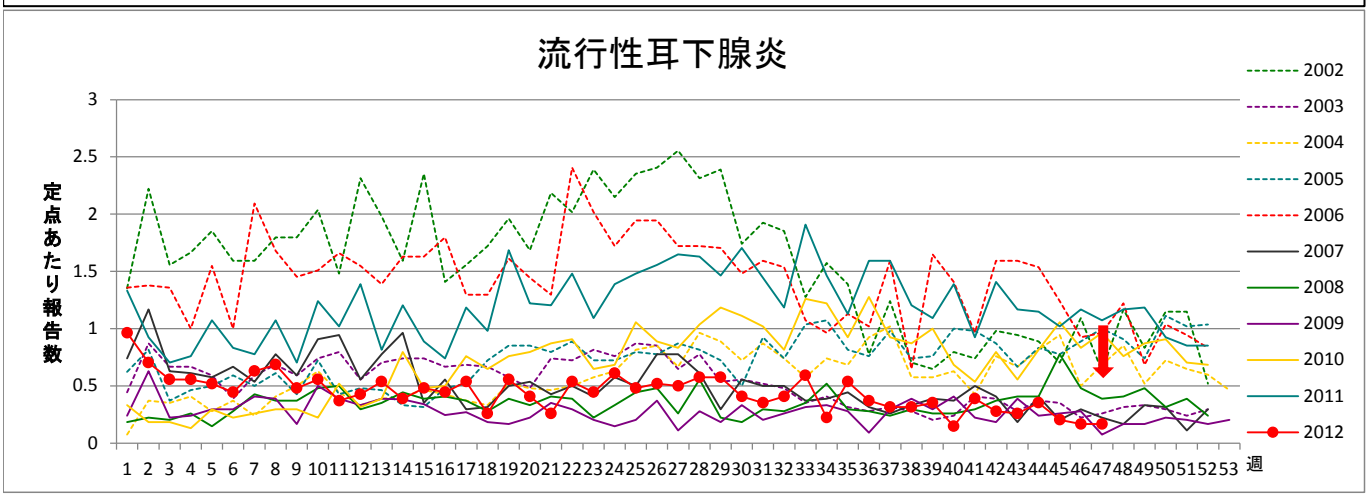

手足口病
定点あたり報告数
12
10
8
6
4
2
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012

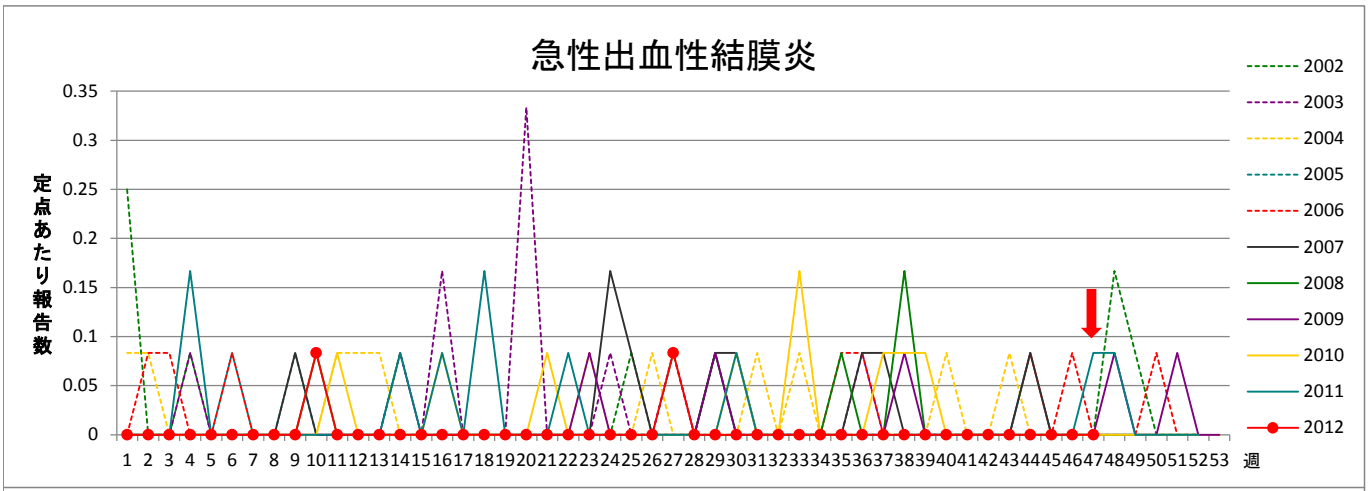

伝染性紅斑
定点あたり報告数
0.7
0.6
0.5
0.4
0.3
0.2
0.1
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012

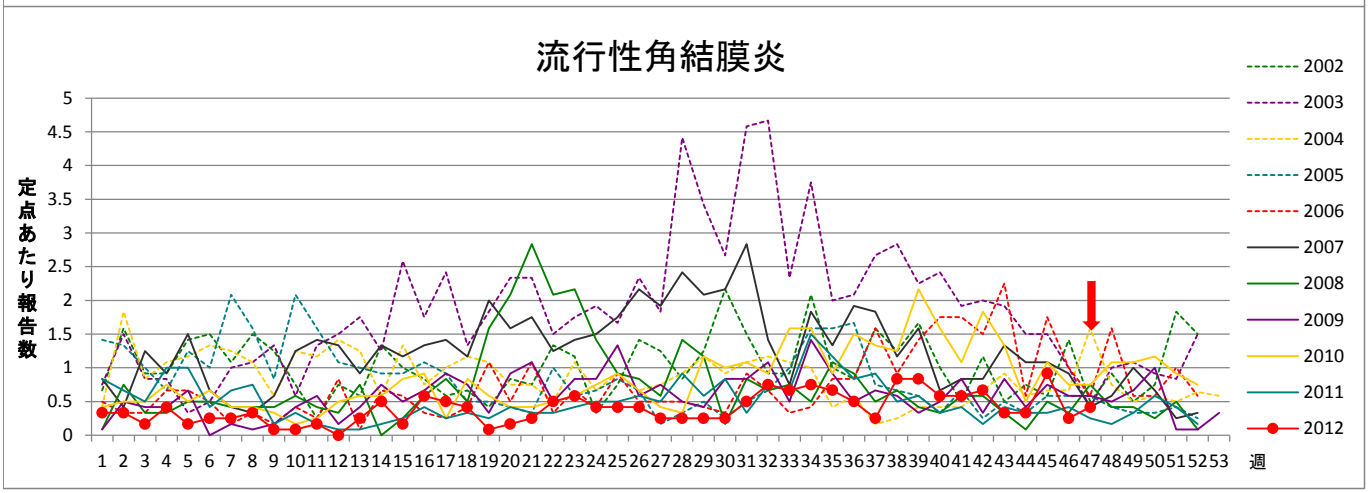

突発性発疹
定点あたり報告数
週
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012

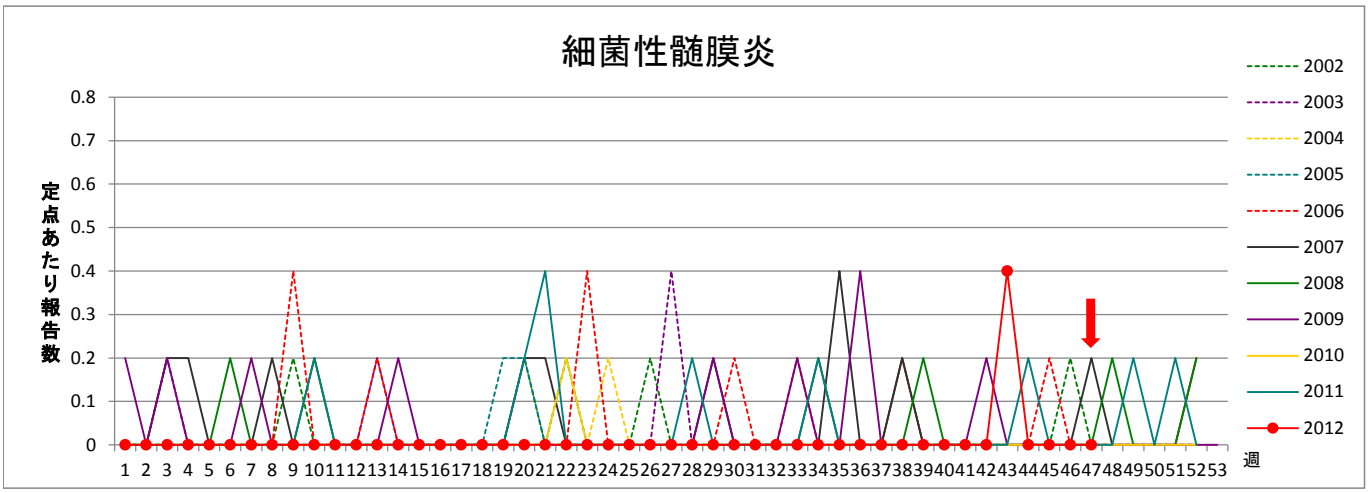

百日咳
定点あたり報告数
週
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012

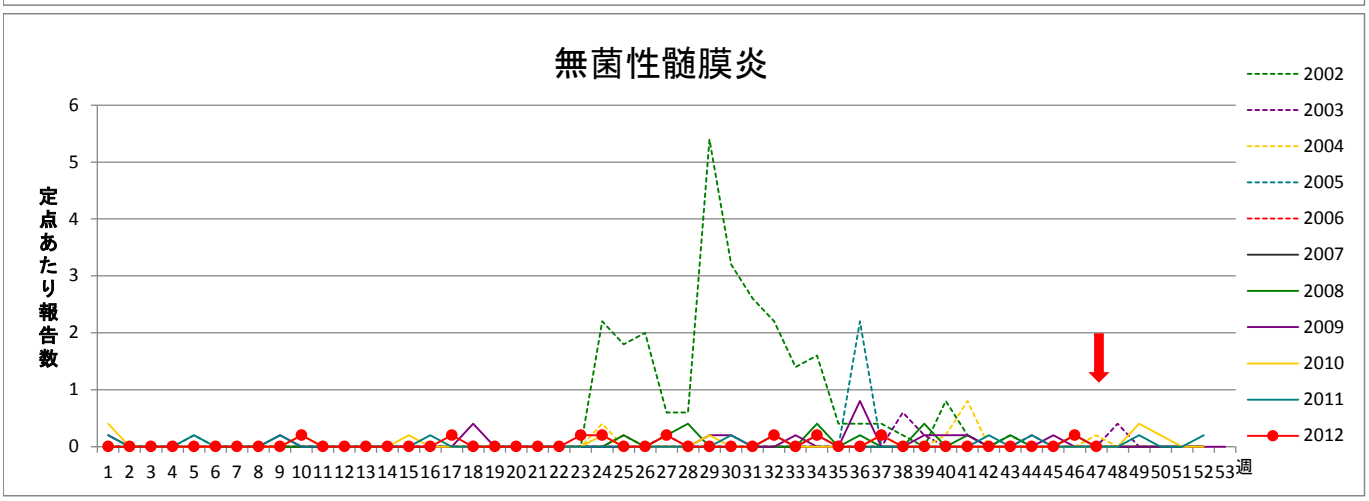

ヘルパンギーナ
定点あたり報告数
週
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012

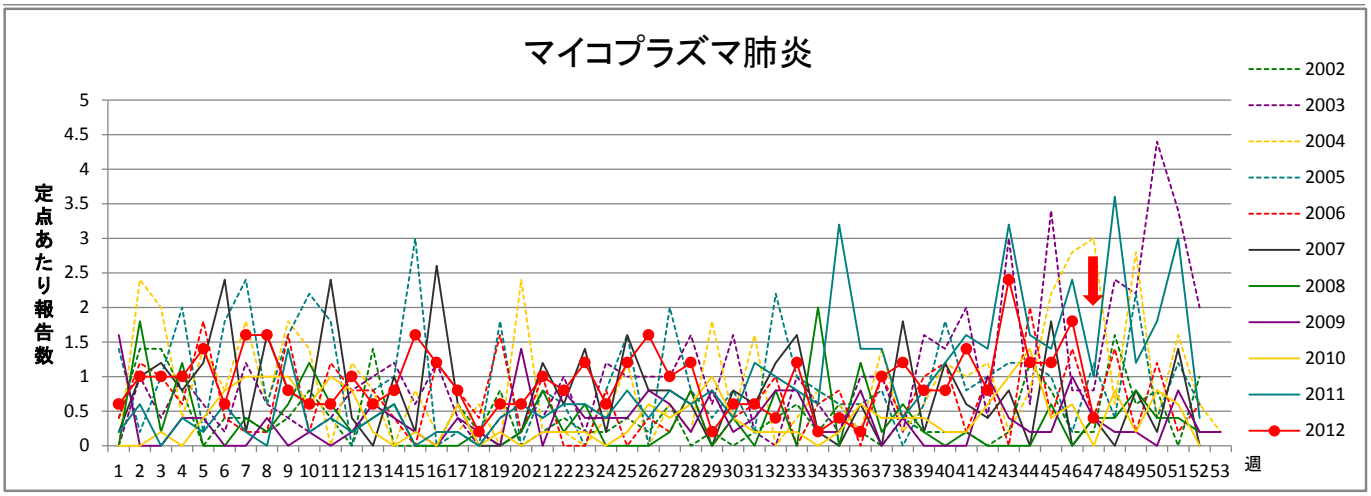

流行性耳下腺炎
定点あたり報告数
週
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012

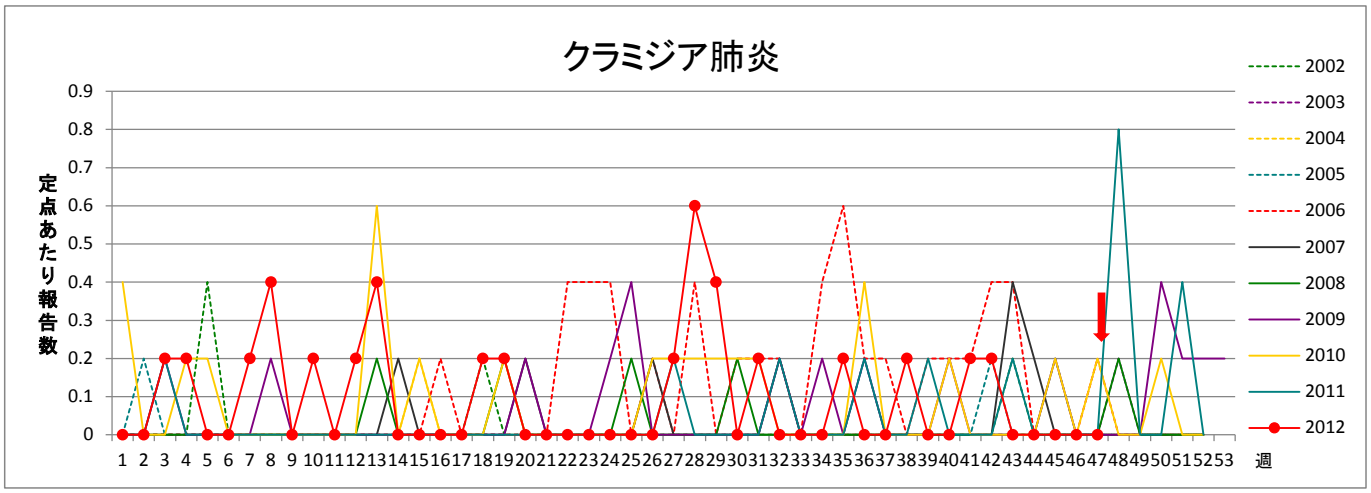

急性出血性結膜炎
定点あたり報告数
0.35
0.3
0.25
0.2
0.15
0.1
0.05
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012


流行性角結膜炎
定点あたり報告数
5
4.5
4
3.5
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012


細菌性髄膜炎
定点あたり報告数
0.8
0.7
0.6
0.5
0.4
0.3
0.2
0.1
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012


無菌性髄膜炎
定点あたり報告数
6
5
4
3
2
1
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012


マイコプラズマ肺炎
定点あたり報告数
週
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012


クラミジア肺炎
定点あたり報告数
週
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012